

いきいきホスピタル にゅーす

2018.9

アスパラガスが SOH の改修をしています！



筑波大学の学生チーム「アスパラガス」は、“病院の空気をおいしく”をモットーに院内で活動しています。彼らが活動の拠点にしているのは SOH（ソウ）と呼ぶ A 棟と C 棟の渡り廊下のスペース。先の先輩たちが、柱を白く塗装したり、装飾を行ったりと、暗いイメージだった廊下を明るく変化させていきました。

今年度のメンバーは、これからの活動についてミーティングを重ね、まずは SOH の改修をスタート。そして昨年から続けている 6 東病棟にある作品を秋仕様へ模様替えも行いました。今後も、SOH を起点にいろいろな活動を行う予定です。アスパラガスの活動が可視化できるよう、SOH のガラス窓には、ミーティングのアーカイブが記録されていますので、チェックしてみてください。

新しい作品と共に



A 棟で展示を行い好評だった、筑波大学芸術専門学群構成専攻の学生による平面構成展は、けやき棟の入院病棟に巡回しました。併せて、面談室にはアクリルの立体作品（筑波大学大学院修了生 尾崎拓磨さん作）も展示しています。小さなアクリルキューブの集合体で、一つひとつのキューブの 1 面にだけ色がついており、見る角度によって色の見え方が変化し、面談室に彩りを添えています。

information

A 棟（外来棟）の企画展示を入れ替え、『秋の実験植物園』展が始まりました。以前筑波大学の授業内で制作され、院内に展示していた写真作品を再展示します。

コナラやメタセコイヤといったみなさんもよく知っている樹木から、めずらしい草花まで…実際に実験植物園に植えられている植物たちを紹介します。

「秋の実験植物園」



会期：2018 年 9 月 20 日（木）～
場所：A 棟（外来棟）1、2 階廊下